

バス利便性向上機器の統合化による 製品力向上

株式会社
バイタルリード

対象類型	競争力強化の形態	目的
革新的サービス	ニッチ分野特化	新サービス展開



- 1：バスに搭載された車載システム。
コンパクトで操作性が良い
2：その後開発された実用版。タブレット
ではなくスイッチ式とした
3：親しみやすい画面表示

乗客に、運転手にも優しい車載システムの開発

交通計画のコンサルティングや公共交通機関に関する調査、それに伴うシステム構築を行なっている当社。地方自治体が運営する公共バスに搭載する安価な運用管理システムを開発、製造し、特に小さな地方自治体に販売している。運行管理を行う「バス車載器」、社内の乗客に行き先などを表示する「デジタルサイネージ」、乗降客数を計測する「乗降カウンター」からなるシステムである。この3つの機器は当初単品として開発していたため、それぞれが連動していなかった。本事業では、運営側や運転手の負担を軽減するべく、3つの機器の統合化を主な事業目標とした。

各機器はそれぞれ独自のアプリケーションで稼働してお

り、操作や管理をタブレットにて行なっている。バスの運転手が営業運転中に3つのタブレットを操作することは違法であり、不可能である。そこでまずは一つのタブレットで操作できるように、統合化アプリの開発にとりかかった。また、同時に各機器を接続するための機器を開発。基本的な関係モジュールを製作し、最終的に5台の試作機を製作。その後バスに搭載し検証実験を行ない、その結果、操作性、機器の安定性という課題を見出した。

本事業では統合化の基本機器と操作アプリの完成をもって完了し、今後は操作性と安定性を解決するべくシングルポートコンピュータを使用することとした。

主な成果

- ・バス搭載機器 3 機種における統合システムの基本機器の完成
- ・実運用向け改善ポイントの抽出

本事業 の成果

実用機開発に向けた 基本開発の完了

課題であった3機の統合について、本事業では基本機器を開発した。また、実装試験を行うことによって、運用における課題として、①運転手の操作性 ②機器の安定性の2つが挙げられた。実運用に向けての大きな開発テーマを見つけ出すことができた。

今後の展望



安価なバス搭載機器の 完成による低コスト運営

今回開発した統合機器をベースに、更なる実用向け開発を行う。バス車載機においては、乗降客の少ない道路運送法みなし4条79条を中心とした路線バスの車両をターゲットとしている。このような路線を運行するバス車両では予算制約の関係から車載機を搭載していない車両が多く、一般的な商品の50分の1の価格で導入できるため、当該商品の市場性は非常に高いことが予想される。また、同システムから得られるデータを積算しビッグデータとして解析を行うことで、最適なバスダイヤの提案など、当社の交通コンサルタント事業拡大が期待される。

弊社は、創立以来これまで、「交通」というキーワードを中心に据え、道路計画や公共交通計画、観光振興や地域活性化の計画、費用便益分析などの事業評価といったコンサルティング業務を行ってきました。特に、地域公共交通の計画策定においては、様々な自治体での業務実績を有しています。

近年では、GIS分析システムや交通安全支援スマホアプリ、公共交通利便性向上機器開発・製造・販売など様々な事業に取り組んでいます。

弊社は、「交通」を中心とした先進技術を駆使するとともに、お客様の期待を超えるサービスや製品を提供いたします。



代表取締役社長

森 山 昌 幸



4：社内の様子

5：出雲市内の社屋



株式会社 バイタルリード

代表者名：代表取締役社長 森山 昌幸

設立年月日：平成10年4月8日

資本金：20,000千円

従業員数：33人

業種：技術サービス業

売上：216.6百万円

住所：〒693-0013 島根県出雲市荻原町274番地 2

TEL：0853-22-9690

FAX：0853-22-9715

URL：<http://www.vitallead.co.jp/>

メール：master@vitallead.co.jp